

# マルバクサイチゴ

*Rubus hirsutus* Thunb. f. *simplicifolius* (Makino) Ohwi  
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では1地点で確認されているだけで、生育地、個体数とも極めて少ない。

## 分布

全国分布は不詳。県内では越前町で確認されている。

## 種の特徴

背丈が20～60cmの低木。全体に短い軟毛が密生し、茎には小さい刺がある。葉は奇数羽状複葉で、花枝には3小葉、徒長枝には5小葉がつく。頂小葉は卵形、側小葉は卵形、先はとがり、縁には細かい重鋸歯がある。花期は3～4月。花は白色。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事等の開発、園芸採取が生育を脅かす。

参考文献 若杉孝生・鳴橋直弘（1993）、福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○										

# コバノチョウセンエノキ

*Celtis biondii* Pamp. var. *heterophylla* (H.Lév.) C.K.Schneid.  
アサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

本県を分布の北限とし、現在知られている生育地は1地区で極めて限られており、個体数も少ない。

## 分布

本州（近畿地方以西）～九州に分布する。県内では大野市で確認されている。

## 種の特徴

落葉小高木。樹皮は灰色。枝は灰褐色で、はじめ黄褐色の伏毛を密生する。冬芽はやや扁平な長楕円形、褐色の伏毛がある。葉身はややかたくて厚く、倒卵形または広倒卵形で、左右やや不相称。花は5月に開花。核果は球形で径約6mm、黒褐色または黒色に熟す。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、産地局限。

参考文献

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# コケミズ

*Pilea peplodes* (Gaudich.) Hook. et Arn. var. *peplodes*  
イラクサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

標本点数が少ない。標本は2006年に採集されたもの以外は、50年ほど前に採集されたもので、現在はそれらの地域に生育していない可能性が高い。シカの食害により生育が危ぶまれる。

## 分布

本州（中部地方以西）～九州に分布。小浜市、若狭町で採集記録がある。

## 種の特徴

山地の日陰に生える一年生草本。茎は淡緑色、高さは5～15cm。葉は卵円形、長さ0.5～1.5cm、全縁または波状鋸歯縁、3脈がある。花期は3～7月。花序は葉腋に塊状となり、雌花と雄花が混生する。

## 生育を脅かす要因

産地局限、シカ食害。

参考文献 門田裕一ほか（2013）、若杉孝生（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○				○						○						